

# 面積の極限は極限の面積

元は穴埋めの問題。

## 20 東京理科大

自然数  $n$  に対して、関数  $f_n(x), g_n(x)$  を  $f_n(x) = 2\left(\frac{x}{2}\right)^{-\frac{1}{n}}, g_n(x) = 2\left(\frac{2}{x}\right)^n$  と定める。

また、座標平面において、原点を中心とする半径  $r_n$  の円  $C_n$  が、

曲線  $y = f_n(x), y = g_n(x)$  のそれぞれと、第一象限においてただ 1 つの共有点をもつとする。

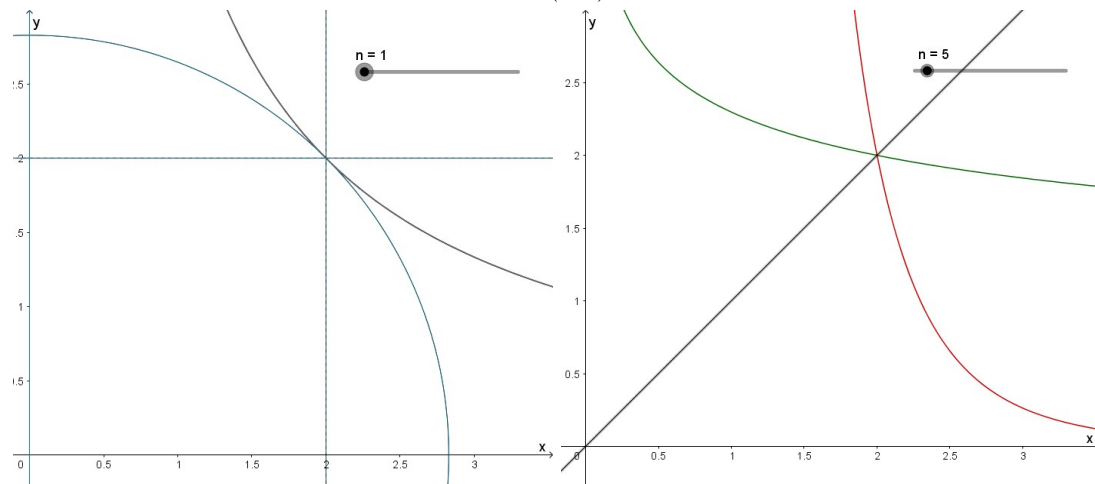
- (1) 円  $C_1$  と曲線  $y = f_n(x)$  の共有点の座標を求めよ。
- (2)  $n \geq 2$  とする。このとき、2 曲線  $y = f_n(x), y = g_n(x)$  はただ 1 つの共有点をもつ。その座標を求めよ。
- (3)  $r_2$  を求めよ。
- (4)  $n$  が自然数全体の集合を動くとき、 $r_n$  が最大になるときの  $n$  とその最大値を求めよ。
- (5)  $n \geq 2$  のとき、円  $C_n$  と 2 曲線  $y = f_n(x), y = g_n(x)$  で囲まれた図形の面積を  $S_n$  とする。このとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log n}{n} = 0$  ということなどから  $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$  を求めよ。

(1)  $f_1(x) = \frac{4}{x}$  と直線  $y = x$  の交点がそれで、 $(2, 2)$

(2)  $y = 2\left(\frac{x}{2}\right)^{-\frac{1}{n}} = 2\left(\frac{2}{x}\right)^{\frac{1}{n}}$  つまり  $\left(\frac{y}{2}\right)^n = \frac{2}{x}, x = 2\left(\frac{2}{y}\right)^n$

よって、 $f_n(x)$  と  $g_n(x)$  は逆関数の関係にあり、直線  $y = x$  に関して対称。

$y = 2\left(\frac{x}{2}\right)^{-\frac{1}{n}}$  と直線  $y = x$  の交点を求めて、 $2\left(\frac{x}{2}\right)^{-\frac{1}{n}} = x, \left(\frac{x}{2}\right)^{-\frac{1}{n}} = \frac{x}{2}, \frac{2}{x} = \left(\frac{x}{2}\right)^n, \left(\frac{x}{2}\right)^{n+1} = 1$   
 $x$  は実数より、 $x = 2$ 、よって、求める座標は  $(2, 2)$



(3)  $x^2 + y^2 = r_n^2$  と  $y = 2\left(\frac{2}{x}\right)^{\frac{1}{n}}$  を連立して、 $x^2 + 2^2\left(\frac{2}{x}\right)^{\frac{2}{n}} = r_n^2$  左辺を  $h_n(x)$  とおいて、

$h_n(x) = r_n^2$  が重解を持つ条件を求めれば良い。

$h'_n(x) = 2x - 2n \cdot 2^{2n+2} \frac{1}{x^{2n+1}} = 2 \frac{x^{2n+2} - n2^{2n+2}}{x^{2n+1}} = 0$  となるのは、 $x > 0$  で  $x = 2n^{\frac{1}{2n+2}} = x_n$  とおいて、

$x$	$x_n$
$h'$	- 0 +
$h$	↘ 極小 ↗

$$r_n^2 = h(x_n) = (2n^{\frac{1}{2n+2}})^2 + 2^2 \left(\frac{2}{2n^{\frac{1}{2n+2}}}\right)^{\frac{2}{n}}$$

$$= 2^2 n^{\frac{1}{n+1}} + 2^2 \left(\frac{1}{n^{\frac{1}{n+1}}}\right) = 2^2 n^{\frac{1}{n+1}} + 2^2 \left(\frac{n^{\frac{1}{n+1}}}{n}\right)$$

$$= 2^2 n^{\frac{1}{n+1}} \left(1 + \frac{1}{n}\right) \text{ よって、 } r_n = 2n^{\frac{1}{2n+2}} \sqrt{1 + \frac{1}{n}}$$

$n = 2$  を代入して、 $r_2 = 2 \cdot 2^{\frac{1}{6}} \sqrt{\frac{3}{2}} = 2^{\frac{2}{3}} \sqrt{3}$  ちなみに  $2^{\frac{1}{6}} \sqrt{6}$  も同じだけど、正解にしたかな。

(4) 図によって明らかに、 $n = 1$  のとき、 $r_1 = 2\sqrt{2}$

(5)  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log n}{n} = 0$  より、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \log n^{\frac{1}{n}} = 0$  つまり、 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^{\frac{1}{n}} = 1$  なので、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = \lim_{n \rightarrow \infty} 2n^{\frac{1}{2n+2}} = 2 \lim_{n \rightarrow \infty} n^{\frac{1}{2n+2}} = 2$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} r_n = 2 \lim_{n \rightarrow \infty} \left(n^{\frac{1}{2n+2}} \sqrt{1 + \frac{1}{n}}\right) = 2 \lim_{n \rightarrow \infty} \left(n^{\frac{1}{2n+2}} \sqrt{1 + \frac{1}{n}}\right) = 2$$

求める面積は 1 辺の長さ 2 の正方形から、半径 2 の円の四半分の面積を引いて、  
 $4 - \frac{4\pi}{4} = 4 - \pi$

